

令和5年度 認知症地域支援推進員の活動実績

認知症地域支援推進員とは

国が、2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、平成 27 年度に策定した「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)の総合的な推進役として位置づけられ、平成 30 年度から全国のすべての市町村に配置されました。

《国の示す認知症地域支援推進員の基本的な役割》

- I 医療・介護等の支援ネットワークの構築
- II 関係機関と連携した事業の企画・調整
- III 相談支援・支援体制の構築

川越市では、年4回の対面による認知症地域支援推進員会議を開催し、認知症にかかる各種事業の検討や見直し、事例や情報共有を図っています。

1 配置人数（令和6年3月末時点）

地域包括支援センター	20 名
地域包括ケア推進課	7 名（うち福祉相談センター4 名）
合計	27 名

※川越市では、平成28年度から地域包括ケア推進課に配置し、令和 2 年度からは各地域包括支援センターにも 1 名以上配置しています。

2 認知症地域支援推進員会議の開催

認知症地域支援推進員間の情報共有や事業の検討等、連携を図るため、令和5年度は会議を4回開催し、第3回の会議については、認知症地域支援推進員研修も併せて実施しました。

	日時	会場	主な議事
第1回	令和5年 5月25日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	☐ 認知症推進員について ☐ 認知症サポーターステップアップ講座修了証について ☐ 認知症初期集中支援チームについて ☐ オレンジカフェについて ☐ 事例などの共有について
第2回	令和5年 8月24日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	☐ アルツハイマーデーについて ☐ 認知症ケアパスについて ☐ 認知症サポーターステップアップ講座修了証について ☐ オレンジカフェについて ☐ 事例などの共有について
第3回	令和5年 11月22日(水)	川越市北公民館 会議室1・2号	☐ オレンジカフェについて ☐ 介護予防普及啓発講演会・中央型オレンジカフェについて ☐ 事例などの共有について (本人ミーティングについて)
第4回	令和6年 2月22日(木)	川越市北公民館 会議室1・2号	☐ チームオレンジ立ち上げ事例の共有 ☐ 認知症初期集中支援チームについて ☐ オレンジカフェについて ☐ 事例などの共有について ☐ 認知症サポーターステップアップ講座修了証について

3 認知症地域支援推進員研修会の開催

日時:令和5年11月22日(水) 午前11時30分から

会場:川越市北公民館 会議室1・2号

講義:共生社会の実現について

講師:社会福祉法人真正会 中間浩一氏

内容:共生社会の実現に向けて、自他ともに認知症を理解し、受け入れる重要性等

4 主な取組内容

・国が示している推進員の主な役割「Ⅰ～Ⅲ」を取組の柱として活動を行いました。

Ⅰ 医療・介護等の支援ネットワークの構築

川越市お帰り安心ステッカー周知ポスターの掲示依頼と配布

市民への普及啓発のため、配布先の検討を行い、市内医療機関や銀行、郵便局、民間商業施設（スーパー、コンビニ、ドラッグストア）等へ周知ポスターの掲示依頼と配布を行いました。また、コミュニティケアネットワークかわごえに協力いただき、賛同事業所へ配布しました。

- 依頼先店舗 計 584件
- ポスター配布枚数 計1,029枚



川越市お帰り安心ステッカーにより、身元が判明した事例（令和5年度）

- 学校内の窓口に本人が現れ、学校内で保護。学校職員は、日ごろから近くのコンビニで周知用ポスターを見ており、お帰り安心ステッカーを知っていた。地域包括ケア推進課に連絡が入り、地域包括ケア推進課より家族へ連絡し無事に帰宅することができた。
- 地域住民が本人を保護し、警察に連絡。到着した警察官が本人の靴にお帰り安心ステッカーが貼ってあることに気付き、素早く家族に連絡することができた。

Ⅱ 関係機関と連携した事業の企画・調整

本人ミーティングの開催

令和3年度に開催した「本人ミーティング～当事者の思いを聴く～」の振り返りを行い、認知症の当事者同士が話を共有できる場所の大切さを改めて実感したことから、認知症地域支援推進員を中心に本人ミーティングを継続的に開催していくこととなりました。

□ 参加者 実人数:6名(延人数:18名)、70代～80代

	日時	会場	主な話題
第1回	令和5年8月4日(金) 午前10時30分～11時30分	子育て安心施設「すくすくかわごえ」 5AB多目的室	※参加者が集まらず中止
第2回	令和5年10月18日(水) 午前10時30分～11時30分	子育て安心施設「すくすくかわごえ」 5AB多目的室	スーパーマーケット などのレジでの困りごと
第3回	令和5年11月15日(水) 午前10時30分～11時30分	子育て安心施設「すくすくかわごえ」 4AB多目的室	「仕事」について
第4回	令和5年12月20日(水) 午前10時30分～11時30分	子育て安心施設「すくすくかわごえ」 5AB多目的室	「仕事」について
第5回	令和6年1月17日(水) 午前10時30分～11時30分	子育て安心施設「すくすくかわごえ」 5AB多目的室	「仕事」について
第6回	令和6年3月13日(水) 午前10時30分～11時30分	子育て安心施設「すくすくかわごえ」 5AB多目的室	一年を振り返って

認知症の本人からの言葉(一部)

- そんなつもりはないけど、買い物の時にマイバッグを持っていて、知らずに商品を入れてしまっていたことがある。万引きになっちゃうと思い、今は余計なものは持っていかなかった。
- 心の中では、俺は認知症ではない、認知症だと認めたくない、心の隅の方にある。
- 目標があると楽しいですね。
- 転勤族で、その土地の美味しいものは食べたけど、仕事ばかりしていたので、子どもたちには寂しい思いをさせていたと今は思う。妻には感謝している。

9月21日世界アルツハイマーデーにおける認知症普及啓発パネルの展示

① パネル展示

認知症に対する理解の促進を図るため、パネル展示を実施しました。併せて、認知症に係る各種チラシも市民が自由に取得できるよう設置し、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

- 場所 川越市民サービスステーション(U PLACE3階)
- 期間 令和5年9月13日(水)～27日(水)



② パンフレット配布

認知症の人と家族の会と連携し、世界アルツハイマーデー(9月21日)に関するパンフレットを配布し、普及啓発を行いました。

- 場所 川越駅西口及び東口デッキ
- 日時 令和5年9月21日(木) 11時～12時



③ 東口図書館での周知実施

令和5年度に東口図書館から提案があり、東口図書館が新たに認知症に関するコーナーを常設し、認知症の本の展示および認知症に関する市の取組などの周知を行っています。



各事業の実施に向けた検討(主な事業)

下記の主な事業については、認知症地域支援推進員会議において検討を行った。

① 認知症サポーターステップアップ講座(チームオレンジ)

認知症サポーターステップアップ講座とは、認知症サポーターがチームオレンジとして活動するために受講する講座です。令和5年度は、認知症サポーターステップアップ講座を2回実施し、令和4年度と合わせて4つのチームオレンジが立ち上がりました。

また、講座を受講した参加者へ渡すための修了証について検討を重ね、作成し、令和6年度より修了証を授与することとしました。

【修了証の見本】



② 本人ミーティング

本人ミーティング開催後の本人の感想や意見や、一緒に参加している家族同士の関わりについて共有しました。参加者を増やすための方法や、参加者がより話しやすい雰囲気づくりについて検討しました。

③ オレンジカフェ

認知症ご本人の参加が少ないオレンジカフェが見られており、地域の高齢者の集いの場になっているという課題に対して、認知症本人の参加率が高まるようオレンジカフェのコンセプトの見直しや取り組みについて検討しました。

④ 認知症初期集中支援チーム

令和4年度に、依頼後から訪問までに時間を要していたため、認知症初期集中支援の流れを変更し、依頼から 1 週間前後で訪問を行い、適時のアセスメントや方針決定を行えるようにしました。

そのため、令和5年度は、変更後の感想や改善点、課題について共有しました。

Ⅲ 相談支援・支援体制の構築

認知症の人や家族への相談支援

①認知症に関する相談対応

・福祉相談センター	182件(相談受案件数)
・地域包括支援センター	12,325件(相談受理・対応件数)

②認知症ケア専門相談事業との連携した相談支援

・医師による認知症相談会	計30組(11回)
・認知症ケア専門相談会	計10組(8回)

認知症の相談支援等における事例検討や情報共有

認知症地域支援推進員会議にて、認知症に関する事例や支援方法について共有しました。

認知症地域支援推進員研修の受講によるスキルアップ

認知症介護研究・研修東京センターが開催する認知症地域支援推進員研修(厚生労働省標準カリキュラム)を受講し、認知症地域支援推進員としての知識の習得等スキルアップを行いました。

研修受講人数:新任者研修7名、現任者研修10名